

EU: 消費者に危険が及ぶ製品の通報について (緊急警戒システム 2008 年度年次報告)

1. 2008 年全体概要

欧州委員会 (EU) は食糧品を除く危険性のある消費者向け全製品について、緊急警戒システム「The Rapid Alert System (RAPEX)」により通報を行っている。現在、このシステムには EU 加盟 27 カ国と EEA 加盟 3 カ国の計 30 カ国が参加している。

RAPEX の通報は毎年増加しており、EU は 2009 年 4 月 20 日付プレスリリース IP/09/594 にて、欧州域内では 2008 年に消費者に危険が及ぶ製品として 1,866 件の通報があり前年比 16% 増となったことを報告した。そのうち 1,545 件は深刻な危害が及ぶと懸念され、通報者内訳は各国当局機関からの強制的な通報 775 件、民間団体からの通報 736 件及びその他 34 件となっている。国別では 2008 年の最多通報国は昨年同様ドイツの 205 件で、次いでスペイン 163 件、スロバキア 140 件、ギリシア 132 件及びハンガリー 129 件となっており、これら上位 5 カ国で全通報数の約 4 割を占めるが、参加 12 カ国で通報件数は増加した。

表 1: RAPEX の通報件数の推移

年度	2003	2004	2005	2006	2007	2008
通報件数	67	468	701	1051	1605	1866

表 2: 2008 年度 分野別通報件数 (上位 5 項目)

製品名	件数	危険内容	件数
玩具	498	負傷	366
電気製品	169	化学物質	341
車両	160	窒息	285
衣料・布地	140	感電	282
育児・幼児用品	89	火災	185

製品別上位 5 品を見ると、玩具が前年比 19% 増の 498 件、通報全体でも約 26% を占め最多である。次いで電気製品が車両を抜いて 2 番目に多くなった。更に昨年まで上位にあった照明器具と化粧品に代わり、「衣料及び布地、織物」と「育児、幼児用品」の通報件数が上位となった。

危険内容別で見ると、依然として負傷が最多ではあるが件数は前年比 2.7% の減少となった。一方、有害化学物質の含まれる製品の通報件数は前年比 60% 増の 341 件と大幅に増加し、負傷に迫る勢いである。

製造国別では、昨年同様、全体の半分近い 909 件は中国 (香港を含む) の製品であった。欧州製品は 313 件で、上位 5 カ国はドイツ 82 件、イタリア 57 件、フランス 30 件及びイギリス 23 件という内訳であった。2005 年に全体の 20% を占めた原産地不明製品は年々減少を続け 2008 年は 159 件と 10% 以下にまで減じた。その他、件数が多い国としてはトルコ 33 件、アメリカ 29 件であり、日本は 2007 年 33 件から 2008 年は 22 件に減少した。

中国では 2006 年 9 月設立の RAPEX-CHINA 情報に基づき、中国国家質量監督検験検疫総局 (AQSIQ) が上記通報案件のうち 669 件について調査を行い、そのうち 352 件では AQSIQ 又は当該企業が是正措置を講じたが、残り 317 件には全く対策が講じられなかった。現在、EU は AQSIQ 及び米国消費者製品安全委員会 (CPSC) とも連携し、今後も輸入製品の安全性を高める努力を続けていく意向である。

2. 自転車関連製品の状況

自転車関連製品の通報件数は 2007 年 33 件から 2008 年は 31 件と僅かに減少した。しかし、2007 年 4 件であったパンク修理キットの通報は 2008 年 11 件に増加している。これはイタリアとリトアニアからの通報が多く、これらはキット中の接着剤に有害な化学物質が含まれる場合が殆どである。全体として危険内容では化学物質の件数が急増した傾向は、自転車関連製品の通報結果にも表れた。

また、完成車は前年 19 件から 2008 年は 11 件へと減少したが、依然として車種では幼児車、子供車が多く、両車種についても玩具や育児・幼児用品など同様に、幼児子供向け消費製品として安全性に厳しい目が向けられている。

因みに 2009 年 4 月下旬第 13 週までの自転車関連製品の通報は、完成車 16 件、パンク修理キット 7 件、その他製品 5 件の計 28 件に達している。2009 年間結果を見るまでは判断できないが、このままでは自転車関連製品の通報件数は更に増加することも予想され、自転車関連製品を欧州に輸出する企業は、特に幼児子供向け製品と有害化学物質に関して、より一層の配慮が必要である。

表 3： 2008 年度 自転車関連製品に関する通報内容一覧

公表日(年・月・日)	通報国	製品	製造国	危険内容	写真 No.
第 1 週 2008/1/11	ポルトガル	サイクリング用手袋	インド	化学物質	1
第 5 週 2008/2/8	オランダ	MTB	アメリカ	負傷	2
第 7 週 2008/2/22	スロベニア	幼児用座席	台湾	負傷	3
第 10 週 2008/3/14	スペイン	MTB	フランス	負傷	4
第 15 週 2008/4/18	イタリア	パンク修理キット	中国	化学物質	5
	オランダ	パンク修理キット	中国	化学物質	6
第 16 週 2008/4/25	イタリア	パンク修理キット	中国	化学物質	7
	イタリア	パンク修理キット	中国	化学物質	8
	イタリア	パンク修理キット	中国	化学物質	9
	イタリア	パンク修理キット	中国	化学物質	10
	スロベニア	ヘルメット	香港	負傷	11
	スロベニア	子供用ヘルメット	中国	負傷	12
第 19 週 2008/5/16	イタリア	パンク修理キット	中国	化学物質	13
	ハンガリー	幼児車	中国	負傷	14

第 23 週 2008/6/13	リトアニア	パンク修理キット	中国	化学物質	15
	リトアニア	パンク修理キット	中国	化学物質	16
第 31 週 2008/8/8	ギリシア	シティ車	台湾	負傷	17
第 37 週 2008/9/19	フランス	カーボン前フォーク	中国	負傷	18
第 38 週 2008/9/26	スペイン	トレッキング車	フランス	負傷、切断	19
第 39 週 2008/10/3	イタリア	パンク修理キット	中国	化学物質	20
第 40 週 2008/10/10	リトアニア	幼児車	香港	負傷	21
第 41 週 2008/10/17	リトアニア	パンク修理キット	中国	化学物質	22
第 48 週 2008/12/5	リトアニア	幼児車	中国	負傷	23
第 49 週 2008/12/12	フランス	サイクルラック	フランス	負傷	24
	リトアニア	子供用 MTB	ポーランド	負傷	25
	フランス	サイクルラック	フランス	負傷	26
	フランス	サイクルラック	フランス	負傷	27
	フランス	サイクルラック	フランス	負傷	28
第 52 週 2009/1/9	スロバキア	子供用 MTB	不明	負傷	29
	スロバキア	子供用 MTB	不明	負傷	30
	スロバキア	子供車	スロバキア	負傷	31

以 上

(デュッセルドルフ事務所)

出所： 欧州委員会プレスリリース「IP/09/594」及び「MEMO/09/167」

2008年 RAPEX 通報における自転車関連製品一覧



1. サイクリング用手袋



2. MTB



3. 幼児用座席



4. MTB



5. パンク修理キット



6. パンク修理キット



7. パンク修理キット



8. パンク修理キット



9. パンク修理キット



10. パンク修理キット



11. ヘルメット



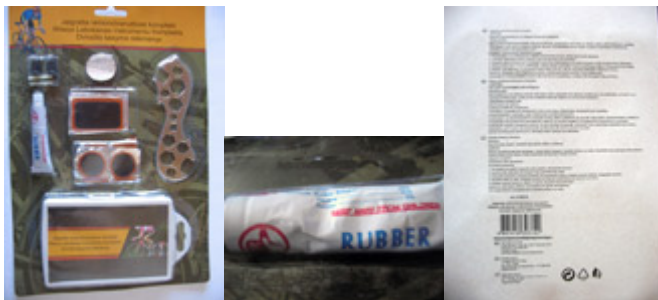
12. 子供用ヘルメット



13. パンク修理キット



14. 幼児車



15. パンク修理キット



16. パンク修理キット



17. シティ車



18. カーボン前フォーク



19. トレッキング車



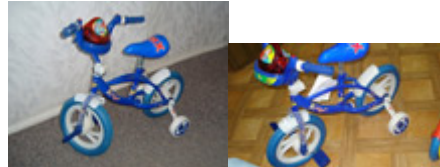
20. パンク修理キット



21. 幼児車



22. パンク修理キット



23. 幼児車



24. サイクルラック



25. 子供用 MTB



26. サイクルラック



27. サイクルラック



28. サイクルラック



29. 子供用 MTB



30. 子供用 MTB



31. 子供車

写真出所 : RAPEX 週間通報より